

それに、商店街の真中に人の集まれる広場があったらいいなあと思います。

市長・若者のまちづくりといっても、若者が少ないためむずかしいと思います。このようなまち、商店街をつくるためには、若者がこの大館に住める環境づくりが最優先と考えています。

山田・駅前再開発や大町商店街の改造については、関係者や専門家だけで計画しているような気がします。この中に消費者代表の主婦や学生なども加え多角的な意見交換が必要だと思います。

市長・最近、モデル的に開発したところとしては、酒田の大火後の復興は素晴らしいものでした。しかしあまりに素晴らし過ぎるため、逆に、住民からは敬遠されてしまっています。

商店街の改造計画は、行政がす

Q2.大館市の商業活動に何が不足しているか。(複数回答)

パーセント	20	40	60	80	100
サービス	60.6%				
店の種類	43.1%				
店の数	24.8%				
商店街の配置	23.9%				

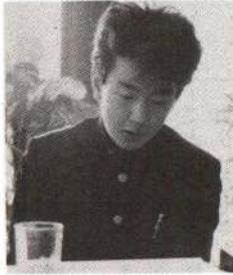
べてを先導しているかのように思われているようですが、実際はそうではありません。商店街の方々が主体になり、それに行政が協力していくということなのです。行政に、なにかもおんぶしようという気持ちであれば、事業の実施はできません。

司会・皆さんもやがては学業を終え、職に就かれるわけですが、どんな企業、職場を望みますか。

庄司・わたしは、大学を卒業後学校の先生になりたいと思っています。

日景・ぼくの場合は、工学関係に進むつもりです。その場合、大館には、それを生かせる職場が少ないと思います。もう少し工学関係企業が増えれば大館に戻ってくることを考えたいと思います。

赤坂・卒業したら大館に戻ってきて、父の商業を継ぎ、地元の商業をもっと発展させたいと思います。そのためには、駅前再開発や大町商店街の改造が必要だと思います。

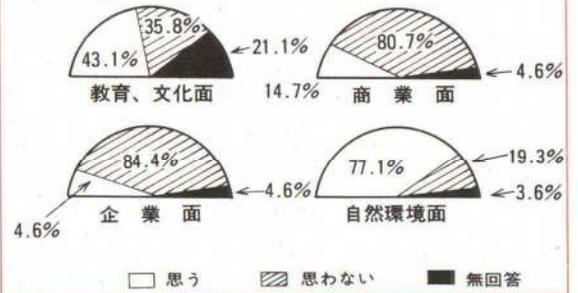


赤坂くん

嶋田・わたしは、大館に帰ってくる気持ちがありません。しかし、企業誘致とか大型店進出によって若者が働く職場が増えたら帰ってくるかもしれません。

市長・若い人たちから、「働く

Q3.大館市は快適と考えますか。



山田・鉱山で働いた人たちは、この仕事だけは子供にやらせたくないという気持ちを持っている方が多いと聞いています。職業に対する考え方も少しずつ変えていかなければならないと思いますね。



山田先生

司会・ところで、アンケートの中で大館を紹介するキャッチフレーズを考えてくださいという質問

がありました。どんなものがありましたか。

嶋田・ありふれたものばかりでした。内容的には、「曲げわっぱ」「きりたんぼ」「大文字」「あめっこ市」「秋田犬」が入っているものが多かったです。中には「四季の色どりのある街」とか、「なんにもない街大館」というものもありました。(笑)

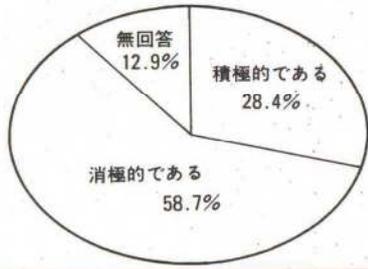
これからは農産物を大館のメーンにもつてきたらという回答もありましたが、わたしなりに考えてみて、大館の農産物といったら、なかなか思いつきませんでした。

市長・これから新しいものを作ることで、今あるものを工夫、発展させ、それをPRすることではないのではないのでしょうか。大館の曲げわっぱ、きりたんぼなどが全国の人たちに評価されていることではないのではないのでしょうか。

司会・皆さんから見て、大館のいいところをいって……。

赤坂・都会は、遊ぶためにはいいところだと思います。しかし、大館には年中行事もたくさんある

Q4.大館市の観光PRをどう思います。



Q5大館市のキャッチフレーズを考えてください。

- ・自然と人情と犬の街
- ・災害のない街
- ・大文字・キリタンポの里
- ・秋田犬とキリタンポの街
- ・十和田・八幡平の玄関口
- ・キリタンポの大館
- ・秋田犬と木材の街
- ・忠犬ハチ公のふるさと
- ・犬ととりと大文字
- ・四季の彩りのある街
- ・日本一の大文字
- ・秋田犬と曲げわっぱと商店街

ことだし、やっぱり、わたしたちのまちが一番だと思います。

庄司・わたしたちが実施したアンケートについて市長のご感想をお聞かせください。

市長・まず、今回の調査につきまして、たいへんよく調べていますが、調査戸数が若干少なかったことと、できれば職業別とか年齢別にどういう傾向があるのか、この辺をもう少し調べてほしいかなと思います。

まず、駅前再開発についてですが、現状で満足という人は少ないと思います。この件は昭和二十九年の大火の後にスタートしたのですが、当時も、小坂鉄道の移転のことが問題になっていました。そして、これは今もなお尾を引いています。これからは、道路網を